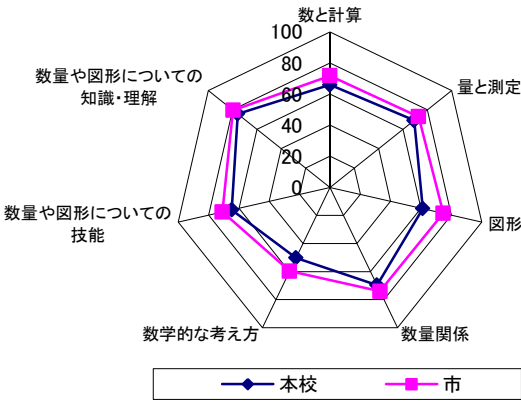


宇都宮市立上河内東小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	65.9	71.8
	量と測定	69.1	72.8
	図形	61.1	74.7
	数量関係	69.6	74.1
観点別	数学的な考え方	50.3	59.7
	数量や図形についての技能	64.7	70.9
	数量や図形についての知識・理解	75.9	79.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、市の平均を下回った。 4けたのたし算、わり算、大きな数の位取り記数法、分数の大きさの理解などは、おおむねできている。4けたのひき算、かけ算、数直線の読み取り、かけ算の計算の仕方の説明、文章問題を解くためのわり算の式の選択ができていなかった。	校内の計算コンクールなど計算力を高める活動を通して、さらに正確さを高めるために、筆算の位をそろえて計算したり、繰り上がり、繰り下がりの数字を書かせたりすることを徹底するとともに、見積もりや見直しなども習慣づけできるようにしたい。文章問題においては、キーワードを見付けながら意味をよく考えて式を立てるよう、繰り返し指導する。
量と測定	- 平均正答率は、市の平均を下回った。 - 長さの単位の理解、道のりの読み取り、かばんの中身の重さを求めることはおおむねできている。2つの時刻の間の時間を求めること、逆思考で何時何分発の電車に乗ったかを求めること、身近にあるものの重さを推察して適切な単位を使うことができていなかった。	時刻と時間については、始めの時刻と終わりの時刻、その間の時間を時計の図や数直線に書き表しながら、60進法の仕組みを十分理解させる。重さについては、実際にはかりを使って重さを測る活動を通して、目盛りの読み方を繰り返し指導する。
図形	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - 直方体の長さの等しい辺の数、直方体を作るときに必要な面の形と数の理解ができていなかった。	直方体や立方体の辺や面については、具体物を使って確認する。また、ドリルやプリント学習を繰り返し行い、様々な形の例を解かせて、問題に慣れるようにさせる。
数量関係	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - 棒グラフの読み取りや口を使った文章問題を表した図の理解と式を立てることは、できている。棒グラフを読み取り提示された条件に該当する項目を示すことが、ややできていなかった。	棒グラフについては、様々な目盛りや単位のグラフを読み取ったり、描いたりする学習を通して、一層の定着を図りたい。文章や図から口を使った式を立てる問題に繰り返し取り組みせ、問題に慣れるようにする。